



▲「きずな 2006」の文字が浮かびあがる信楽中学校生徒による人文字

先月から今月にかけて、市内の幼稚園や保育園、小・中学校で運動会や体育祭が開催され、週末には応援の歓声が市内各地で聞かれました。そうした中、信楽中学校では、生徒による「きずな 2006」の人文字が体育祭のフィナーレで浮かびあがりました。この人文字には、きずなを大切にみんなで素敵な甲賀市を築こうという願いが込められていたようです。

きずなが みんなのキーワード

信楽中学校体育祭で人文字

市長杯かけて164名が熱戦

第1回甲賀市民チャリティーゴルフ大会



チャリティー募金を中嶋市長に手渡す甲賀市ゴルフ協会の西田副会長(右)

秋のさわやかな風がなびく信楽で去る9月28日(木)、甲賀市で初めてとなる市民チャリティーゴルフ大会が甲賀市ゴルフ協会主催で開催されました。当日は、市内各地から164名の方が参加、心地よい汗を流しました。

表彰式では、当日の参加者や協賛企業から寄せられたチャリティー募金30万円と主催者からサッカーボール10個が中嶋市長に贈られました。なお、お寄せいただいた募金については、青少年の育成のために、また、サッカーボールは、市内スポーツ少年団に贈られます。

なお、今大会には、市長杯を用意、大会優勝者の方に贈られました。

甲賀市民スタジアムで 全国大会が開催される

—天皇杯第61回全日本軟式野球大会—

予選を勝ち抜いた都道府県代表チームが滋賀県に集まり、開催された天皇杯第61回全日本軟式野球大会。甲賀市民スタジアムも会場となりました。

同スタジアムでは、1回戦から3回戦までの一部の試合が開催され、鳥取県や福井県、大阪府、長崎県、栃木県、京都府、地元滋賀県のチームが熱戦を展開しました。

観客席も各チームの応援団や観戦に駆けつけた市民の皆さんで埋め尽くされました。応援団の方も「こんないい球場で試合が出来て選手も幸せですね。」と話されていました。

今後もこうした試合が市内で開催され、甲賀の名が全国に馳せることに期待したいものです。



▲市民スタジアムでの熱戦の様子



応援団で埋め尽くされた観客席

芸術の秋... 絵画と切り絵が 寄贈される



▲絵画「七つの子」を寄贈する岩下さん(左)

「カクレコ」 画家 岩下哲士さん

(甲南町希望が丘在住)

岩下さんから寄贈された絵画は、「七つの子」でふくろうと七羽の子がクレパスと水彩で描かれています。今年の夏に、甲南町の忍の里プラザで開催された作品展「岩下哲士展「哲ちゃんの暑い夏」のワークショップで来場者の見守る中、描かれたものです。岩下さんは、1歳の時に急性小児片まひを発病し、半身まひになりましたが、小学3年から絵の才能を開花させ、豊かな色彩感覚と大胆な構図で創作を続け、多くの人に感動を与えています。岩下さんの今後ますますのご活躍を期待します。

このほど、市内在住のお二人の方から、市へ作品を寄贈いただきました。皆さんも芸術に親しんでみませんか。

「人を囃し、町を囃す」

中村 学さん (水口町城東在住)

中村さんからは、愛着のある地元の水口曳山祭で大太鼓を演奏する様子を表現した切り絵「人を囃し、町を囃す」を寄贈いただきました。

普段、理容業を営む中村さんは、中学校時代に美術の授業で切り絵と出会ったのをきっかけに、「絵とは違った楽しさがある」と現在も続けておられます。光と影の対照的な色彩や、素朴で力強い白と黒のコントラストを引き立てた作品などが人気で、各地で巡回展も開催されています。寄贈された切り絵は、市役所水口庁舎1階に飾られています。



▲切り絵を寄贈いただいた中村さん

真夏の 熱い戦い

第2回

甲賀市民 球技大会

今年も、8月20日(日)・27日(日)に市内の10のスポーツ施設を会場に、バレーボールをはじめ10種目で熱戦が繰り広げられました。

この大会は、市体育協会の支部対抗戦となっています。各種目の優勝は次のとおりです。

バレーボール男子	水口	ソフトテニス男子	信楽
バレーボール女子	水口	ソフトテニス女子	信楽
ソフトボール男子	土山	グラウンドゴルフ	甲南
ソフトボール女子	土山	ターゲットパドゴルフ	甲南
卓球男子	水口	サッカー	甲賀
卓球女子	甲南	ゲートボール男子	土山
バドミントン	水口	ゲートボール女子	水口
バスケットボール男子	水口		



問い合わせ 甲賀市体育協会 ☎/FAX 86-2343 生涯スポーツ課 ☎ 86-8023 FAX 86-8380